

令和4年度 事業報告

1 会議の開催

●幹事会の開催

- ・日時：令和4年6月22日（水）14:00～16:30
- ・場所：（公財）北九州産業学術推進機構 技術開発交流センター1F 中会議室
- ・議事：総会議事確認、市内発ロボット創生事業審査会ほか

●総会の開催

- ・日時 令和4年7月6日(水) 13:00～13:30
- ・場所 西日本総合展示場 AIMビル 3階 314・315 会議室
- ・参加者 11名

●セミナーの開催

①定期総会記念講演他

- ・日時：令和4年7月6日（水）13:45～15:20
- ・場所 西日本総合展示場 AIMビル 3階 314・315 会議室
- ・参加者 32名
- 令和4年度定期総会記念講演（13:45～14:30）
「『"ロボットフレンドリー"な環境の実現』～ロボット導入環境のイノベーション～」
講師：経済産業省 ロボット政策室 室長補佐 福澤秀典 氏
- 令和4年度トピック（14:30～15:00）
「高専発！ロボットスキルを備えた人財の育成 ～ロボットを創る、ロボットで創る～」
講師：北九州工業高等専門学校 生産デザイン工学科 准教授 古野誠治氏
- 令和3年度市内発ロボット創生事業 成果報告（15:00～15:20）
「収穫コンテナ自動排出・格納機能を有する農作業用汎用型移動台車の開発」
講師：北九州工業高等専門学校 生産デザイン工学科 准教授 松尾 貴之氏

2 開発支援

ロボット開発や実用化の促進を狙い、北九州市内の大学や企業等で進められている様々な研究開発プロジェクトに対し、研究会の運営や技術的な課題への助言など資金面も含めて支援を実施。

●市内発ロボット創生事業

北九州市内でのロボットニーズ調査から試作品づくりまでを、トータルにサポートすることにより、新たなプロジェクトの立上げやニーズに応じた開発を支援。

公募期間：令和4年3月25日（月）～6月10日（金）

審査会：令和4年6月22日（水）
応募2件に対し審査を実施。

審査結果：審査の結果 採択テーマ無し

3 人材育成の推進

●生産性向上スクール

基礎から中級レベルまで幅広く知識を習得いただくために、システムインテグレータ候補者等を対象として、以下の5講座（延べ11回）を開講し、延べ受講者数38人を育成しました。

- 1 産業用ロボット基礎講座
- 2 ロボット活用講座

- 3 ロボットビジョン講座
- 4 協働ロボット体験講座
- 5 ロボットシミュレータ活用講座

4 情報発信・交流の促進

北九州市が保有するロボット技術について市内外にPRするとともに、市民のロボット技術に対する理解を深めるため、ロボットに関する情報や北九州ロボットフォーラムの活動を発信した。

●展示会の開催・出展

展示会の開催・出展を通じ、ロボット開発拠点の形成とFAIS事業の広報を行った。

ロボット産業マッチングフェア 2022(西日本総合展示場新館)

期間：令和4年7月6日～7月8日

出展社数：16社・団体/29小間

来場者：13,749名(3日間)

●後援・協力

ロボット関連イベントの後援や協力を実施。

・「第9回トマトロボット競技会」 令和4年12月3日～4日 学研都市会場にて開催。

・「ロボメカデザインコンペ2022」 令和4年12月17日 福岡市科学館にて開催。

5 収支報告

令和4年度 支出

	内 容	内 訳	決算額
1	展示会出展	ロボット産業マッチングフェア@西展	2,000,400
2	人材育成	ロボットフォーラムセミナー講師謝金	5,760
3	事務局経費	会議開催等雑費	1,780
		計	2,007,940

令和4年度 収入

	内 容	決算額
1	北九州市からの補助金	
	計	2,007,940